

平成24年度 大規模津波防災総合訓練を開催

東日本大震災から得られた貴重な教訓を生かした 地域住民と防災関係団体・機関との合同防災訓練



開催：平成24年9月2日（日） 9：00～13：00

主催：国土交通省、岡山県、岡山市

平成24年度 大規模津波防災総合訓練

未曾有の大津波により、多くの尊い人命と貴重な財産等が失われた東日本大震災から得られた数々の貴重な教訓をいかし、地域住民と防災関係団体・機関が協力・連携して実践型の防災訓練を実施しました。

訓練は、岡山県岡山市の岡山港をメイン会場、共催市町のスポーツ公園などをサテライト会場とし、見学者等多くの方が参加する大訓練となりました。

■ 訓練の被災想定

- ・ 南海トラフを震源とするM9.0の巨大地震により、岡山県内で震度6強を観測
- ・ 県南部で液状化、土砂崩れ、家屋倒壊、建物火災、ライフラインの途絶等が発生
- ・ 県沿岸部に3～5mの津波が襲来し（地震発生3時間後）、海岸保全施設、港湾、河川、道路施設等被害や浸水被害が発生

■ 実施した訓練

情報収集・提供訓練、避難訓練、救助・救護訓練、道路障害物撤去訓練、港湾障害物撤去訓練、被災施設応急復旧訓練、緊急物資輸送訓練、地域住民のボランティア活動による各種支援訓練 他

■ 参加機関 97機関（最終ページをご参照下さい。）

■ 参加人数 訓練参加者 約7,000名（来賓及び一般見学者含む）

開会式

メイン会場では羽田国土交通大臣に挨拶を頂き、地元選出の国会議員の視察など、大勢の方にご覧いただきました。



開会挨拶をされる
羽田国土交通大臣



開会式

第1部 緊急地震速報発令後の訓練

■ 住民への避難呼びかけ

津波警報の発表を受け、住民への避難を呼びかける訓練が行われました。



防災無線による避難呼びかけ



広報車による避難呼びかけ



巡視艇による避難呼びかけ



岡山市消防局ヘリによる
上空からの避難呼びかけ

■ 住民の避難訓練

陸・海・空からの避難の呼びかけを受け、住民が避難を行いました。



高所へ避難した住民

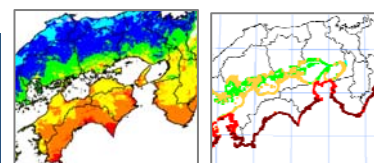
救援物資を受け取る住民



■ 被災状況の迅速な把握・情報発信



国土交通省防災ヘリによる
上空からの津波襲来状況の
偵察・レポート



気象台による記者会見訓練

第2部 津波警報解除後の訓練

■ 関係機関による災害対策打合せ

救急救命活動や応急復旧活動、各種支援活動を行うための関係機関による災害対応に関する調整打合せが行われました。



国土地理院からの空中写真、災害対策用図を基に災害対応に関する打合せ



関係機関による災害対応に関する調整打合せ

■ 緊急災害対策派遣隊（TEC-FORCE）による被害状況調査

緊急災害対策派遣隊（TEC-FORCE）による被災箇所の調査が行われました。



TEC-FORCEによる被災状況調査

■ 人命救助、物資輸送のための道路啓開

陸上エリアでは、国土交通省、岡山県、地元建設業者及び自衛隊が結集し、道路啓開を実施しました。その後、被災者の救助・救命訓練、支援物資の輸送訓練などが行われました。



オフロードバイク、道路パトロールカーによる情報収集



道路建設業協会、岡山県建設業協会による道路閉塞の障害物撤去作業



無人遠隔操作による工作機械ロボQを使用した土砂撤去作業



道路啓開作業

■ 被災者救助・救命訓練

広域緊急救助隊、自衛隊等により、被災者の救出訓練が行われました。



倒壊家屋・車両内からの被災者救出

■ 河川・海岸の応急復旧訓練

TEC-FORCEにより、堤防の異常箇所に対して土のう積み、津波浸水の排除が行われました。



土のう積みの実施

■ 迅速なライフライン復旧



上水道等の復旧

■ 炊き出し訓練



赤十字奉仕団、自衛隊などによる炊き出し

■ トリアージ判定訓練



人命救助のための迅速なトリアージ判定



津波浸水の排除

■ 洋上漂流者の救助訓練

海上・上空訓練エリアでは、自衛隊、海上保安庁、岡山市消防局が連携し、洋上漂流者の救助訓練が行われました。その後、航路啓開、支援物資の輸送訓練などが行われました。



自衛隊による洋上漂流者の引き揚げ救助訓練



海上保安庁の巡視艇による洋上漂流者の救助



救助者の搬送引継ぎ

■ 航路の啓開・港湾施設の被災調査



作業船による沈降障害物の揚収作業



自衛隊による空中消火



気球空撮システムによる港湾の被災状況調査



■ コンビナート災害対応訓練

■ 海上からの支援物資輸送訓練

航路啓開後、作業船などにより、支援物資の輸送が行われました。



ボランティアによる荷下ろし



■ パネル・災害対策機械展示

会場では、災害対策用機械・パネルを展示し、大勢の方にご覧いただき、防災について理解を深めていただきました。



展示ブースの様子

閉会式

閉会式では中国地方整備局長が挨拶を行い訓練は終了しました。



閉会挨拶を行う戸田中国地方整備局長



災害対策用機械の展示

■ 平成24年度大規模津波防災総合訓練 参加機関一覧(97機関)

中国管区警察局、中国総合通信局、中国財務局、中国四国厚生局、中国四国農政局、近畿中国森林管理局、中国経済産業局、中国四国産業保安監督部、中国地方整備局、中国運輸局、岡山労働局、大阪航空局岡山空港出張所、国土地理院中国地方測量部、大阪管区気象台、広島地方気象台、岡山地方気象台、第六管区海上保安本部、水島海上保安部、玉野海上保安部、広島航空基地、中国四国防衛局、陸上自衛隊中部方面総監部、陸上自衛隊第13旅団、海上自衛隊呉地方総監部、海上自衛隊第24航空隊、航空自衛隊西部航空方面隊司令部、自衛隊岡山地方協力本部、岡山県、鳥取県、広島県、香川県、岡山県警察、鳥取県警察、岡山市、岡山市水道局、岡山市消防局、岡山市教育委員会、倉敷市、玉野市、笠岡市、備前市、瀬戸内市、浅口市、早島町、日本赤十字社岡山県支部、岡山赤十字病院、岡山県赤十字血液センター、岡山市赤十字奉仕団、赤十字飛行隊岡山支隊、川崎医科大学附属病院、(一社)岡山県病院協会、(公)岡山県看護協会、(社)岡山市医師会、岡山市内医師会連合会、(公)日本河川協会、NHK岡山放送局、岡山放送(株)、テレビせとうち(株)、岡山エフエム放送(株)、西日本高速道路(株)中国支社、本州四国連絡高速道路(株)、西日本旅客鉄道(株)岡山支社、中国電力(株)岡山支社、西日本電信電話(株)岡山支店、(株)NTTドコモ中国支社、岡山ガス(株)、水島ガス(株)、津山ガス(株)、(社)岡山県エネルギー協会、岡山県水難救済会、イオンリテール(株)、岡山県高圧ガス地域防災協議会、岡山県港湾空港建設協会、岡山県石油商業組合、(一財)移動無線センター中国センター、(一社)岡山県警備業協会、(社)岡山県建設業協会、(社)岡山県建築士会、(社)岡山県トラック協会、(一社)建設コンサルタンツ協会中国支部、(一社)全日本漁港建設協会岡山県支部、(社)中国建設弘済会、(一社)日本アマチュア無線連盟岡山県支部、(社)日本埋立浚渫協会中国支部、(社)日本海上起重技術協会中国支部、(一社)日本橋梁建設協会、(一社)日本建設機械施工協会中国支部、(社)日本建設業連合会中国支部、(一社)日本自動車連盟岡山支部、(一社)日本道路建設業協会中国支部、(社)日本補償コンサルタント協会中国支部、中国旅客船協会連合会、(福)岡山県社会福祉協議会、(福)岡山市社会福祉協議会、水島コンビナート地区保安防災協議会、DOWAホールディングス(株)、中国地方の防災に関する連絡会

発行：中国地方整備局企画部防災課 代表 082-221-9231(内線3411)
〒730-8530 広島市中区上八丁堀6-30 広島合同庁舎2号館